

みなさん、こんにちは。そして明けましておめでとうございます。早くも 2024 年を迎えました。新年も健康で前向きな一年にしていきたいものです。12 月は様々なイベントがあって充実した楽しい月でした。12 月に経験したイベント三つを紹介します。

まず一つ目が、留学生の交流会です。これは同じ地区に住む留学生の交流を目的としたイベントで、地域の学校の先生方が企画してくれたものです。私たちは他の留学生と一緒にボーリング場でゲームを楽しんだり、クリスマスのオーナメントを作ったり、お菓子の家を作ったりしました。私はボーリングが得意ではなく、20 人ほどいる留学生の中で下から三番目のスコアでしたが、とても楽しむ事が出来ました。また、自分から他の留学生の子に話しかけたことで友達が増えました。もとより、私は外向的な性格ではなく友達は多くいる必要はないと考えていましたが、実際に自分から声をかけたことで友達が増えたという経験はとても貴重なものに感じられます。

二つ目は、タレントショーです。タレントショーとは、希望者が自分の得意なことを披露する発表会のようなものです。私の友達の一人が、単独で舞台に出てダンスパフォーマンスをしました。彼女は前日に、自信がないから辞退しようか考えていると私に話していましたが、本番は最後まで素晴らしいダンスを観客に魅せてくれました。体育館にいる全観客が盛り上がり、まさに「フロアが沸く」という表現がぴったりでした。後で彼女に話を聞いてみるとダンス経験は皆無だそうで、只ダンスの解説動画などを見て振り付けを覚えて披露したとの事でした。私はこのタレントショーへの参加を誘われた時、自分にはパフォーマンスできるようなスキルを持っていないと断ってしまいました。そのため、自分に特別な技術を持っているかどうかに関わらず、一人で舞台に立って最後までやり遂げた友達の姿勢にとっても刺激を受けました。

三つ目は、こちらの一番のイベントであるクリスマスです。正直なところ、私はクリスマスを楽しみにしていませんでした。その理由としては、ホストマザーから事前にクリスマスからニューイヤーにかけてホームパーティーや親族の集まりが沢山あると聞いていた為です。「ホストファミリーと家族の一員として過ごす」というのはホームステイの制度を利用する全留学生の目標です。しかしながら、やはり数ヶ月前まで知らない人の家庭に加わっているわけなので、完全に馴染むというのは難しい部分があります。その為、ホストファミリーの血族である親族のパーティーではどう自分が立ち振る舞えば良いのか分からず、そのような機会の度に少しストレスを感じていました。だから、このクリスマスというイベントが私はとても心配だったのですが、実際に終えてみた感想としては楽しく良い経験になったといえます。留学当初と比較して英語力が向上したためある程度会話ができる事、何回か会ったことのある人、見慣れた場所だというだけで少しパーティーでの気の張り方が緩和されたように感じます。また、これまでは誰と一緒にパーティーの間時間を過ごせばいいか分からなかったものの、ホストシスターの親戚の小さな子供たちと遊ぶという選択をすることで、大人たちより気軽に話せました。何度も親戚の子供たちと遊ぶ経験を重ねることで、相手が懐いてくれて会った時や帰り際にハグをしてくれるようになりました。彼らの無邪

気な笑顔を見ていて、私はあまり人との接し方を深く考え過ぎる必要はない事に気づきました。それからは社交的なイベントにも気楽に参加できるようになったと思います。カナダの人々にとってクリスマスはとても大切なもので、私のホストファミリーの家はクリスマスツリーを手に入れるためにモミの木を森から切りました。ホストファミリー達はクリスマスツリー1つでも、木の大きさから形、葉のつき方などにこだわりがあるようで雨の中時間をかけて気に入る木を見つけ出しました。また、ホストファミリーの親族が皆近隣に住んでいる為クリスマスのホームパーティーは5日間で9個ほどありました。とても忙しいスケジュールではありましたが、こちらの人のクリスマスへの気の入れ方が伝わる充実したホリデーになったと思います。

これらの経験を経て迎えた、私の新年の目標は挑戦です。早い事に留学生活もあと半年になりました。この貴重な機会を有効活用し後悔を残さない為に、今年は何事も考える前に取り敢えずやってみる精神を大事にしたいと思います。

白鷗高校 16 期生 次世代リーダー育成道場 11 期生 N.W